資本論第二巻目次　岩波文庫第4巻　2025.11.24変更

その1

		回	P7	P数	ﾚﾎﾟｰﾀｰ	日程他	
序文　エンゲルス		69		29	田部	2024.11.26	
第二巻　資本の流通過程　1885.5.5			P7	34		レポート順	
第1篇資本の諸変態とそれらの循環			41			田久保	
第1章貨幣資本の循環		70	p 41		海淵	12/25	中島
第1節 第一段階。G－W			42	13	〃		杉 村
第2節 第二段階。生産資本の機能			55	5	〃	2025/	加 藤
第3節 第三段階。W´－G´		71	p 60	3	田久保	1/29	海淵
第4節 総循環		72	77	17	〃	2/27	酒井
第2章生産資本の循環			P 94			〃	櫛部
第1節 単純再生産		73	p 95	20	中島	3/27	
第2節 蓄積および拡大された規模における再生産		74	115	7	〃	4/28	
第3節 貨幣蓄蔵			p122	3	杉村	〃	
第4節 予備金			125	3	〃	〃	
第3章商品資本の循環		75	128	21	〃	5/26	
第4章循環過程の三つの形	前半	76	P149	30	加藤	6/30	
	後半	77	164			7/28	
第5章流通期間		78	p179	11	海淵	8/25	
第6章流通費			190		〃		
第1節 純粋な流通費			190		〃		
1　売買期間			190	6	〃		
2　簿記			196	3	〃		
3　貨幣			199	2	〃		
第2節 保管費		79	p201	1	酒井	9/26	
1　在庫形成一般			202	9	〃		
2　本来の在庫形成			211	8	〃		
第3節 運輸費			219	6	〃		
第2篇資本の回転		80	p225		田久保	10/27	
第7章 回転期間と回転度数			p225	6	〃		
第8章 固定資本と流動資本			231		〃		
第1節 形態上の区別		81	231	17	〃		
第2節 固定資本の構成部分、補填、修繕、蓄積		82	p248	21	中島	11/24	
第9章 前貸資本の総回転。回転の循環		83	P269	9	杉村	12/22	
第10章 固定資本と流動資本とにかんする諸学説	前半		278	14	〃	〃	
重農学派とアダム・スミス	後半	84	292	24	加藤	2026/1/	
			316				
第11章　同上　　諸学説。リカード		85	317	19	海淵	2/	
第12章労働期間			336	15	酒井		
第13章生産期間		86	351	15	櫛部	3/	
第14章流通期間			366	13	〃		
第15章回転期間が資本前貸の大きさに及ぼす影響		87	379	14	田久保	4/	
第1節 労働期間が流通期間に等しい場合			393	6	〃		
第2節 労働期間が流通期間より大きい場合			399	8	〃		
第3節 労働期間が流通期間より小さい場合		88	407	8	中 島	5/	
第4節 結論			415	9	〃		
第5節 価格変動の影響			424	13	〃		
第16章可変資本の回転		89	P437	21	杉村	6/	
第1節 剰余価値の年率			437		〃		
第2節 個別可変資本の回転			458	7	加藤	7/	
第3節 社会的に考察された可変資本の回転			465	10	〃		
第17章剰余価値の流通			P475	9	海淵	8/	
第1節 単純再生産			484	30	〃		
第2節 蓄積と拡大再生産			514	8	酒井	9/	